

平成23年10月13日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成23年度 第2回 地域経済活性化部会

◆ 10月13日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成23年 第2回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成23年10月13日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F ベリタ
- ・出席者：会長(部会長)、運営委員、アドバイザー、会員等

### ◎ 地域経済活性化部会の概要

#### 1. 開会

#### 2. 部会長挨拶

#### 3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 総合教育文化モデル事業開催(6/9、13、16)【資料1】※
- (2) 多摩川っ子(第4号)発刊(7/11)【資料2】
- (3) 東急百貨店より「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/11)【資料3】
- (4) 狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加(7/17)【資料4】※
- (5) 日本赤十字社に義援金を送金(7/29)
- (6) 第4回子どもカヤック体験教室開催(7/30)【資料5】※
- (7) 夏休み親子イベント(リビング多摩連携事業)開催(8/6)【資料6】
- (8) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/7)【資料7】
- (9) 第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/22)【資料8】※
- (10) 「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」第2回植樹イベント開催(9/10)【資料9】※
- (11) 「食と地域の交流促進対策事業」第1回実行委員会開催(9/12)【資料10】
- (12) 「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」対外公表(10/1)【資料11】  
東京ビッグサイト・JATA旅博ブース・パフォーマンス(10/1～2)【資料12】  
美しい山形・最上川フォーラム設立10周年記念講演(10/1)【資料13】
- (13) 第4回美しい多摩川フォトコンテストの募集を開始(10/1～12/31)【資料14】  
～以下、当面の予定～
- (14) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催(11月)【資料15】
- (15) 第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/17)【資料16】

#### 4. 意見交換

- (1) 「東北・夢の桜街道プラン」について【資料 11】
- (2) 「食と地域の交流促進対策事業」について【資料 10】
- (3) 「多摩川の歌」の普及について
- (4) その他

#### 5. 部会長総括・閉会

##### 1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度第2回地域経済活性化部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

（株式会社JTB法人東京 西東京支店 営業担当部長 横内 恒雄 様）

横内と申します。よろしくお願いいたします。

（三井住友海上火災保険株式会社 東京西支店 業務次長 山本 恭久 様）

山本と申します。この春、長野県より転勤してまいりました。地域に根ざした社会活動を目指し、主に水辺の環境整備に取り組んでおります。今回、社員意識の啓蒙を含め、多摩川をきれいにしたいと思い、法人として入会させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）

有り難うございました。以上、本日も新たに2名の方が加わりました。

始める前に一点ご報告があります。前回の部会で、「5月31日をもって1,000会員を突破した」とご報告いたしましたが、本日、ちょうど1,100会員となりました。

それでは、細野会長からご挨拶をお願いいたします。

##### 2. 部会長挨拶

（細野会長）

平成23年度・第2回地域経済活性化部会を始めます。先ほど事務局から、「1,100会員を突破した」と報告がありましたが、凄いなと思います。皆さんは、「どういうメリットがあって入会されるのかな」と思われるかもしれませんが、新しい事業がどんどん増えているのです。例えば、東北を元気にする事業など。私も8月

に東北を訪れ、今月20日にも行く予定です。その際、「美しい多摩川フォーラムが“心の絆”を考えながら、東北が元気になるお手伝いをします。」というメッセージを伝えに行きたいと思います。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

### 3. 経過報告（事務局）

はい、前回6月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに（1）番、（4）番、（6）番、（9）番、（10）番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

- （1）総合教育文化モデル事業開催（6/9、13、16）
- （4）狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加（7/17）
- （6）第4回子どもカヤック体験教室開催（7/30）
- （9）第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催（8/22）
- （10）「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」第2回植樹イベント開催（9/10）

— ビデオ放映 —

経過報告はいかがでしたでしょうか。その他の経過報告、当面の予定につきましては、お時間の関係で、資料添付のみとさせていただきますので、後ほどご覧いただければ幸いです。

#### （14）第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催（11月）【資料15】

- ・ 【資料15】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、11月をクリーンキャンペーン月間と位置付け、一昨年からの取り組みを行っております。第1回目は5団体でスタートし、第2回目となる昨年は、10の連携団体で実施しました。今年は、新たに三井住友海上火災保険株式会社の皆さんが参加される予定です。また、JTさんの関連会社である、日本フィルター工業株式会社さんも参加されることになっています。行政については、昭島市が調整中となっており、立川市にもこれから話をしたいと思っています。今年度も、十数団体で実施できるのではないかと考えています。一つでも多くの団体にご参画いただき、11月を「多摩川の一斉清掃月間」として定着させ、多摩川の上・中・下流をみんなで一斉に清掃できればと思います。

#### （15）第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催（12/17）【資料16】

- ・ 【資料16】をご覧ください。今年で第4回目を迎えます。昨年は10団体が参加し

ましたが、今年はずでに4～5団体の参加が決定し、4～5団体は調整中です。中には初参加の団体もありますが、現在も募集中ですので、よろしくお願ひいたします。以上で経過報告を終わります。細野会長、よろしくお願ひいたします。

(細野部会長)

有り難うございました。今年始めたものから、すでに4回目を迎えるものまで色々な事業がございますが、事務局からの経過報告でご質問、ご意見などございますか。ないようですので、意見交換に進めます。

#### 4. 意見交換 (部会長)

(細野会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

##### (1) 「東北・夢の桜街道プラン」について【資料 11、12、13】

(事務局)

- ・ 【資料 11】をご覧ください。前回6月の活動部会の意見交換において、このプランの概要を説明させていただき、7月の臨時運営委員会で承認されました。そして7月と9月の実行委員会を経て、10月1日の対外公表に至りました。お配りした資料には、対外公表のペーパー3枚と、チラシ2枚が添付されております。
- ・ 対外公表につきまして、【資料 12】と【資料 13】をご覧ください。10月1日に、東京と山形の2ヵ所で対外公表を行い、東京では東京ビッグサイトで開催された「JATA旅博」で、山形では山形グランドホテルで開催された「美しい山形・最上川フォーラム設立10周年記念事業」の記念講演にて、同時に「東北・夢の桜街道プラン」を公表しました。
- ・ 「JATA旅博」については、東北観光推進機構さんよりお声掛けをいただき、ブース・パフォーマンスという形で、今回のプランの趣旨・概要を、平野啓子さん出演の1本のビデオにまとめ、1日2回、2日間で計4回、会場にてプレス発表をしました。初回放映前には、細野会長にご足労いただき、スクリーンの前でご挨拶を賜りました。山形では、宮坂事務局長が記念講演を行い、その中でプレス発表を行いました。
- ・ チラシ2枚をご覧ください。1枚目には、東北6県の代表的な桜の札所の写真が掲載されています。チラシ裏面には、桜の札所・八十八カ所の一覧があり、下段には、東北6県の知事の写真が掲載されています。そして具体的なイベントとして、2枚目のチラシをご覧ください。来年4月21日(土)には、1番札所である福島県三春町の三春滝桜で、平野啓子副会長による語り会がすでに決定しています。イベントは、1回にとどまることなく、今後10年間、少なくとも毎年1回ずつ、東北

6 県の札所のどこかで開催する予定です。

- ・ 続いて、新聞記事をご覧ください。対外公表後、大きな反響があり、各メディアから取材依頼が多数寄せられたほか、新聞各社にも記事が大きく掲載されました。今日は主なもの（朝日新聞朝刊、山形新聞、日刊スポーツ、読売新聞）のみご紹介させていただきます。
- ・ これから、「JATA旅博」で放映したビデオを皆さんにご紹介しますので、スクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

(事務局)

いかがでしたでしょうか。「東北・夢の桜街道プラン」の実行委員でもあるJRさんが、本日出席の予定でしたが、まだお見えになっていませんので、同じく実行委員であるJTBさんから、一言お願いします。

(横内様)

私たちJTBも、この「東北・夢の桜街道プラン」に参画、後援をさせていただいております。我々は以前より、近場も東北も含めた花見のツアーを立ててきましたが、今回は「東北・夢の桜街道プラン」を組み込んだ企画を、来年度4月以降の商品企画として、まさに今、社内的に煮詰めている状況です。我々旅行業界にとっても、東北方面の旅行客が激減している中、このような機会を利用して、営利取り組んでまいりたいと存じます。

(細野会長)

「JATA旅博」はとても良いアピールになりましたね。ビデオを改めて拝見しましたが、とてもきれいな映像に仕上がっています。

何かご質問やご意見がございましたら、お願いします。

(馬淵様)

三春のイベントは、“当日現地集合”となっていますが、他の企画として、宿泊も含めたパッケージ・ツアーなども考えているのでしょうか。

(JTB横内様)

我々の企画では、桜の札所1つに傾注するのではなく、幅広く展開していきたいというスタンスしております。

(馬淵様)

東北の桜の時期に、こういった企画を何回か売っていくということでしょうか。

(JTB横内様)

正直申し上げて、旅行商品としては、桜だけのツアーよりも、桜+αで企画したほうが、集客がアップすると見込んでいます。

(馬淵様)

フォーラムの会員数が1,100を超えたということなので、例えば、フォーラム会員を対象に、ツアーを募ることも考えてみたらどうかと思います。

(JTB横内様)

フォーラムの会員には、個人会員だけではなく、法人会員もいらっしゃいます。いわゆる“組織内募集”としてツアーを企画することに関しては、営利検討中でございます。

(事務局)

事務局から補足させていただきます。フォーラムの事業としては、4月21日の三春の語り会のみですが、それ以外にも、色々な事業の展開が考えられます。全日空さん、日本航空さん、JR東日本さん、はとバスさんたちそれぞれが、自分たちの出来る形での応援をする、つまり、旅行を仕掛ける商品を作っていくことにより、全体を盛り上げていくということです。フォーラムには大きな予算がありませんので、ひとつをやるのが精一杯です。しかし、一過性ではなく、今後東北で毎年実施していきます。また、「東北・夢の桜街道」ロゴを後援企業さんたちに使用していただき、フォーラムの運動にしたいと考えています。

旅行商品を発表できる段階になりましたら、皆さまにご案内する予定ですし、企業の中で社内PRしたいということであれば、必要部数を教えていただければと思います。

(細野会長)

八十八ヵ所を毎年1ヵ所ずつ巡ると、88年かかります。ですので、一度に複数巡れるように企画すると良いかもしれませんね。

(事務局)

堤様、何かご意見はありませんか。

(堤様)

前は、「観光を企画しても良いのでしょうか」という辛口の意見を述べさせていただきましたが、あまり小難しいことを考えずに、全国に訴えることを考えると、桜は非常に分かりやすいですし、これだけニュース・バリューがあるということは、それだけ東北各県の皆さんも期待されているのではないかと思います。

先ほど、フォーラム会員に旅行商品を売るという話がありましたが、例えば限定価格とか、先行予約ができるようにすると喜ばれるのではないかなと思います。

(藤井様)

花見スポットは、最盛期になると、観光バスが動けなくなります。ですので、ツアーは桜だけではなく、史跡巡りなども盛り込んだほうが良いと思います。

(事務局)

事務局からもう一点追加させていただきます。実行委員会の中で、「八十八ヶ所全部周ったらプレゼントはないのか」というご意見が多数出ています。「駅からハイキング」のように、駅にスタンプを置けるのなら良いですが、山奥に1本咲く桜もありますので、スタンプ・ラリーは難しいかなと思います。別のアイデアとして、携帯のGPS機能で位置確認が出来るようなので、そういったことも考えてスタートできればと思います。

## (2) 「食と地域の交流促進対策事業」について【資料10】

(事務局)

- ・ 【資料10】をご覧ください。この事業は、8月に交付決定が下り、9月12日に第1回・実行委員会を開催しました。議事メモを添付しておりますので、後ほど目を通していただければと思います。
- ・ そもそも「食と地域の交流促進対策事業」とは何かと申しますと、観光と連携した、都市農山村の交流促進（グリーンツーリズム）を推進していくものです。具体的には、奥多摩の自然・食・文化を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を促進していくもので、地域の人口が減少していく中、交流人口を増やす観光ビジネスを創出していきたいと考えています。地元の特産品、物産品を開発し、美しい多摩川フォーラムの広域ネットワークを連携して、魅力的な地域づくりができればと思います。観光交流によって、少しでも地域経済が活性化し、持続可能で活力ある地域社会の実現を期待しています。
- ・ 取組内容は、①地元の特産品の研究・開発（奥多摩郷土弁当、モダン・スイーツ）、②地元の昔話や文化資源の掘り起こしと実演、③食と文化の交流イベントの開催、④当フォーラムの広域連携ネットワークを活用した交流人口増加による地域活性

化です。総事業費（案）は、平成23年度が2,122千円、平成24年度が2,498千円です。

- 年度内の今後のスケジュールですが、9月12日に第1回実行委員会が開催され、1月11日に第2回実行委員会、2月28日に第1回「食と文化の交流イベント」シンポジウムが開催される予定です。今回のシンポジウムでは、弁当・スイーツの試作、あるいは試作前の素材について発表する予定です。弁当・スイーツの完成は平成24年度になります。本日は、このプロジェクトの実行委員長を務めていただいている小澤運営委員より、一言お願いします。

（小澤運営委員）

当委員会は、フォーラムの活動を地域振興に結び付けようと発足いたしました。行政から交付金をいただき、ご当地弁当、ご当地スイーツの開発、民話の掘り起こしを行ってまいります。実行委員長は、実際に実行することはあまりなく、実行担当の澤田委員が隣におりますので、マイクを渡します。

（澤田アドバイザー）

先週、伊勢丹立川店で多摩の物産を紹介するイベントがあり、私も企画に2ヵ月前から携わっていました。「江戸の食文化」をテーマとして、試食販売を行いました。1週間で麦きりが700本売れました。

フォーラムの活動では、江戸時代から有名な「沢井ゆず」を入れた麦きりを新商品として出したいと思っています。弁当に関しては、テイクアウト用の弁当と、店の中で食する幕の内弁当の2通りを考えています。今月、小澤酒造さんで蔵開きがありますが、そこで体験をしていただき、それを踏まえて試食ができるところまで持っていきたいと思います。

（細野会長）

ただいまの説明に対して、何かご意見などございませんか？

（藤井様）

このプランに関しても、交通機関の問題が出ると思います。以前から提案していますが、多摩地区であれば、どんな交通機関でも利用できるパスポートを発行したら良いと思います。オーストリアに「ザルツブルグ」という塩の街がありますが、市内の全交通機関を利用できる周遊券を発行しています。これを多摩地区で実現できれば、地域経済の活性化が望めると思います。

(細野会長)

フォーラムとJRとのネットワークは密なんですよ。こういったアイデアが出てきましたと伝えてみても良いかもしれません。他にご意見はございますか。

(石黒様)

週末になると、奥多摩地域は、登山客が多く訪れます。私も年に一回はウォーキングに訪れ、つい先日も行ってまいりました。いつもコンビニで弁当を調達しているので、地元の弁当が手に入れば嬉しいです。しかし、奥多摩駅だけではなく、川井駅、古里駅、鳩ノ巣駅などからも昇り降りするので、各駅で入手できるようにしてほしいです。もしくは、乗換駅である青梅駅でも入手できるようにしてほしいです。

売る方にとっても、買う方にとっても、予約注文のほうが良いと思います。

登山から降りてくると、たいいてい「一杯やっぺいこう」となりますが、各駅で遅くまでやっている店がなく、拝島まで行かなければなりません。登山客の中に、帰りにビールを飲んで帰りたい、美味しいものを食べて帰りたいというニーズは結構あると思います。

(馬淵様)

事務局に質問です。グリーン・ツーリズムの交付金期間はどれくらいでしょうか。

(事務局)

交付金については、来年度までの2ヵ年となっておりますが、これを機会に、平成25年度以降も、私どもの色んなイベントでPRし、観光交流に結び付けていければと考えています。

(細野会長)

有り難うございました。他に何かご意見はございますか。

(事務局)

奥多摩町の加藤様、この件について一言いただけますでしょうか。

(奥多摩町 加藤様)

奥多摩地域にとって、有り難く思っています。10月6日に文部科学省から発表された、航空機モニタリングの結果発表により、奥多摩町や埼玉県秩父市が大騒ぎになっています。雲取山の稜線伝いにそびえる鳥谷山で、放射線量が高いという報道がありました。来月、奥多摩の紅葉がピークになり、一番の集客時期になる予定が、国からの発表により、観光産業は風評被害などの打撃を受けるのではと恐れています。

そんな中ではありますが、多摩川フォーラムの奥多摩町への想いを有り難く感じ、行政としても、出来る限りの協力をさせていただきたいと考えています。

(細野会長)

他に何かございますか。ないようでしたら、次の案件にまいります。

### (3) 「多摩川の歌」の普及について

(事務局)

- ・ CD完成についてはすでにご報告をさせていただきました。来月、多摩川流域の小中学校約850先に、CDを発送する予定です。発送前には、マスコミ等に広報をさせていただく予定です。
- ・ 12月に開催予定の「第4回多摩川子ども環境シンポジウム」では、東村山第2中学校吹奏楽部の生徒さんたちにより、冒頭で「多摩川の歌」を歌っていただく予定です。実は、いままで総会などで「多摩川の歌」を披露してくださっている三多摩青年合唱団のメンバーに、東村山第2中学校社会科の箱崎先生がいらっしやり、今回の企画が持ち上がりました。箱崎先生には、普段から「多摩川の歌」の普及活動にご尽力をいただいています。その箱崎先生から、歌を発表する前の11月に、「ぜひフォーラムの活動について子どもたちに説明してほしい」と依頼を受け、事務局による1時間程度の出前講座を開く予定です。これからも、色々な形で普及活動を続けてまいりますので、皆さんのご協力もよろしくお願いいたします。

(細野会長)

「多摩川の歌」は、聴けば聴くほど良い味が出る、まるでスルメのような歌です。ぜひ皆さんも、何度も聴いていただければと思います。

### (4) その他

(事務局)

- ・ 本日、JRさんがこちらに来て、「東北・夢の桜街道」についてご発言いただくことになっておりましたが、業務の都合でどうしても出席できない代わりに、伝言を承りましたので、ご報告をさせていただきます。JRさんと一言で言いましても、当フォーラムの会員は八王子支社です。八王子支社では商品企画機能がないため、「東北・夢の桜街道」について、初めは慎重な対応をされていましたが、プロジェクトが進んでいく中で、「正式のルートに乗った形で前向きに動き始めた」とのことです。前向きになったきっかけは、チラシの裏面に掲載されておりますとおり、東北6県の知事が、この運動に関わったことです。東北地区の知事全員が、ひとつの市民運動に対して応援をするというのは、恐らく初めてではないかと思えます。

## 5. 部会長総括・閉会（部会長）

（細野会長）

これから冬になりますが、東北の復興に関して、政治のほうでは、どのような形でお金を出すのか、議論が二転三転し、まだ決まっていません。早く決まってほしいと思います。グリーン・ツーリズムでは、多摩の魅力づくりにぜひとも協力していきたいと思います。また、「多摩川の歌」普及に関しても、皆様のご尽力をお願いします。奥多摩については、少し気の毒に思いますが、少し我慢しなければならないと思います。

それでは、これにて終了いたします。本日は有り難うございました。

以 上